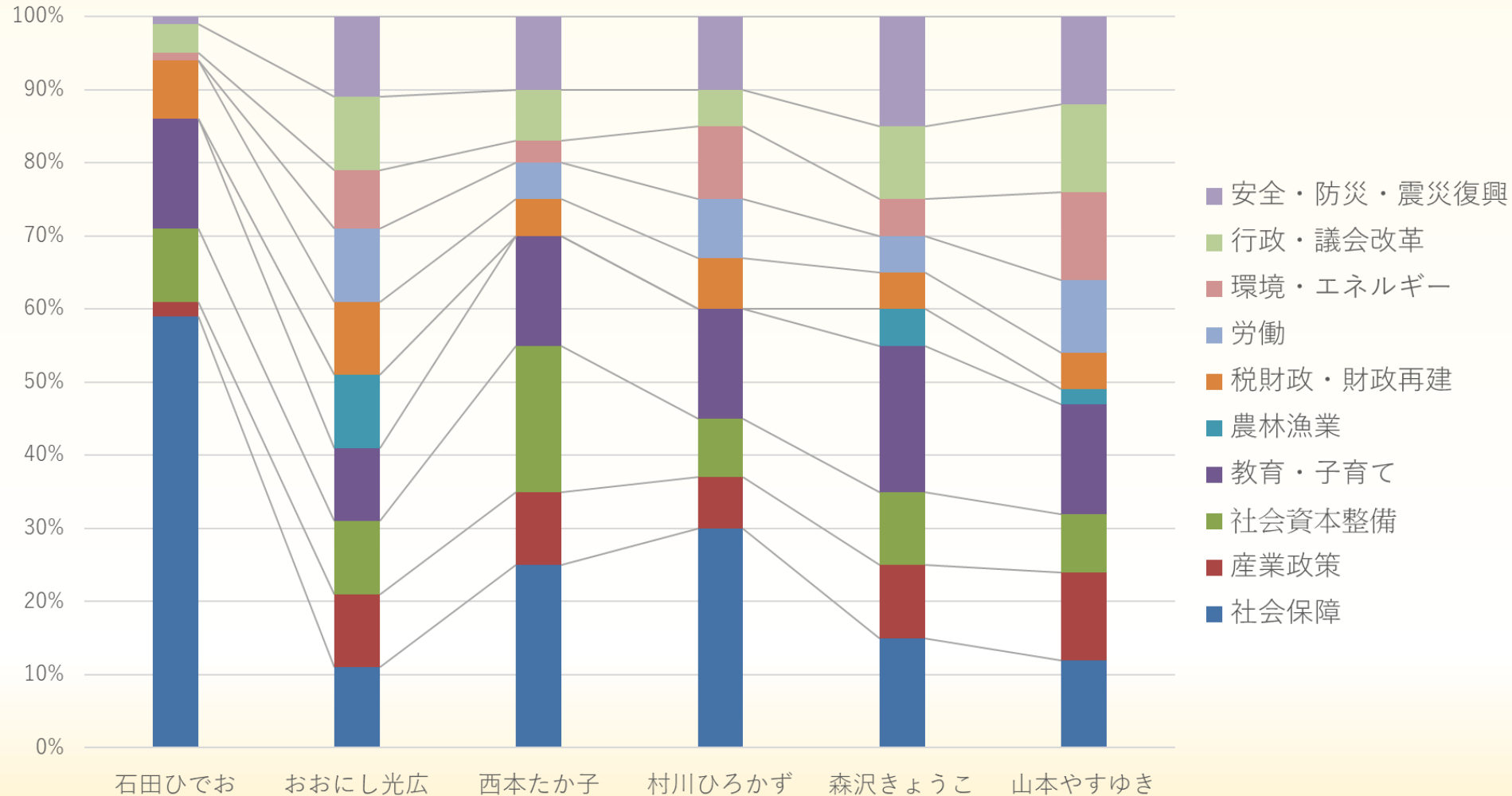


品川区長選挙 公開討論会 政策比較表

政策分野の注力度（予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野への配分）



※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2022年9月27日現在で作成しました

品川区長選挙 公開討論会 政策比較表1

課題を解決するための重要政策 第1優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

| | 石田ひでお | 西本たか子 | 森沢きょう子 |
|------|-----------|---|---|
| 政策分野 | 教育・子育て | 行政・議会改革 | 教育・子育て |
| 期限 | 来年度から | 2年間で見直しの骨子を決定 残り2年を実践期間とする | 2023年4月より開始 |
| 数値目標 | — | 情報開示数を現状の2倍 及び内容の見直し | 100%を1年間 |
| 予算 | 10億円～12億円 | 令和4年度のビックデータ、 AI等の予算内 | 1億円 |
| 手段 | ○給食費の無償化 | ○区民の状況把握のためビックデータ、AI、SNSの活用及び地域の資源を活用した情報収集の仕組みの構築 ○徹底した情報開示 ○政策決定の説明責任 ○天下りの廃止 ○外郭団体の見直し ○長期計画及び現事業が現状にマッチしているものか見直し ○職員の意識改革を図り、達成感・生き甲斐が持てる職場環境の整備 | ○負担と不安を減らす子育て3つの無償化と一人ひとりを支え、伸ばす教育改革を進め、子育て世代に選ばれる街を目指す。 ○具体的な政策の一つである「おむつ宅配」は、経済的な負担を減らすとともに、孤独な子育てや児童虐待を防ぐ効果もあり、早急な実現を目指す。 |

※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2022年9月27日現在で作成しました

品川区長選挙 公開討論会 政策比較表1

課題を解決するための重要政策 第1優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

| | 山本やすゆき | 村川ひろかず | おおにし光広 |
|------|---|--|--|
| 政策分野 | 教育・子育て | ①住民福祉の向上(子供～高齢者) ②公衆衛生(保健所強化、大学、医療機関連携) ③エッセンシャルワーカー等の人材育成(介護看護ほか) | 新庁舎整備政策 |
| 期限 | 2030年 (区長任期2期までをゴールとして) | 3～5年(～10年) | — |
| 数値目標 | 今後、議会、行政、区民の皆様と議論したうえで決定 | — | 0円建て替え |
| 予算 | 数値目標と照らし合わせの上決定 ※最優先の政策分野として十分な予算確保を目指す | — | — |
| 手段 | <ul style="list-style-type: none"> ○給食費や幼稚園、保育園の学費無償化 ○習い事クーポン券の助成 ○子ども食堂の運営支援等経済的・物理的支援強化 ○区独自のキャリア教育の実施 ○ダイバーシティ教育プログラムの拡充 ○球技ができる公園整備 ○地域スポーツクラブの活性化支援 <p>これらの事業を通じて心身ともに健全な子育て環境を整備することを目指す。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○公費(税金)は区民のため健康と福祉中心に正しく使う ○人材への投資(エッセンシャルワーカー重点) | <ul style="list-style-type: none"> ○区庁舎建て替え計画を一旦中断し、現在の世界情勢による原材料費高騰がしている状況では建て替えは行わない。 ○従来型の建て替え方式ではなく、中堅以上のデベロッパー10社程度に公募型のプロポーザル方式の導入。 →絶対条件として税金投入0円で新庁舎の建て替えを行う |

※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2022年9月27日現在で作成しました

品川区長選挙 公開討論会 政策比較表2

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

| | 石田ひでお | 西本たか子 | 森沢きょうこ |
|------|---|--|--|
| 政策分野 | 行政改革 | 産業政策 | ①行政・議会改革 ②産業政策 ③社会保障 |
| 期限 | 3年 | 4年間 | 2023年4月採用 |
| 数値目標 | — | 現時点での回答は困難 将来的に観光、産業振興で＋ へ転じさせる | 民間からデジタル専門官を 登用 |
| 予算 | 70億円 | 現時点では立てられず | 1000万円/年 ※デジタル専門官の給与 |
| 手段 | 国や都が推進する、東京のDX 推進強化に向けて 展開する様々な取り組みと連 携を取りながら区のDX化を図 る。 | ○区役所跡地を利用してJR東 日本と協業し、品川区が文化 遺産として保存の支援を行う。 ○地域活性化のの目玉として 国内外へのPRを含め、地域活 性化、皇室車両を含む車両の 保存。 これらの展示により戦前から ある大井工業を国鉄と共に 守ってきた区民の誇りを醸成 する。それに合わせて大井町 全体の街づくりの見直しを図 る。 | 現区政の「継承と発展」にお いて最も重要なことは時代に あわせて仕組みをアップデー トしていくことである。 特に、新区役所への移転にあ たっては、デジタル化を進め、 区民サービスの向上を図る必 要がある。そのため、民間か らデジタル専門官を登用し、 区役所のデジタル化を進める。 |

※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2022年9月27日現在で作成しました

品川区長選挙 公開討論会 政策比較表 2

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

| | 山本やすゆき | 村川ひろかず | おおにし光広 |
|------|---|---|---|
| 政策分野 | 社会保障 | ①人材の活用(青年期の職能開発) ②シルバーパワーの活用(65～75歳台の活力) ③外国人材の導入(介護・看護等～多職種) | 行財政改革 |
| 期限 | 2030年 区長任期2期までをゴールとして) | 3～5(～10)年 | — |
| 数値目標 | 今後、議会、行政、区民の皆様と議論したうえで決定 | — | 4年ごとに生じる2118万円の支出をなくす |
| 予算 | 数値目標と照らし合わせの上決定 重要政策分野として十分な予算確保を目指す | — | — |
| 手段 | <p>○高齢化によりニーズの高まっている特養ホームや多様な介護サービスを、立地や提供方法を検討した上で推進</p> <p>○地域包括支援センターの増設</p> <p>○スタッフの増員</p> <p>○障がい者福祉施設整備を利用者目線で整備。</p> <p>○医療機関と連携し、コロナ後遺症患者向け支援プログラムを企画・実施</p> | <p>①人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手の職能訓練 ・転職相談 ・DX対応等 <p>②シルバーパワーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種別、性能別スーパーヴァイザー <p>③外国人材の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護・看護だけでなく多職種へ最低賃金、福利厚生の実化。 | <p>○23区で初めて区長退職金廃止条例案の提出</p> <p>○区長任期は三期までとする条例案の提出</p> |

※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2022年9月27日現在で作成しました

品川区長選挙 公開討論会 政策比較表 3

課題を解決するための重要政策 第3優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

| | 石田ひでお | 西本たか子 | 森沢きょうこ |
|------|--|--|---|
| 政策分野 | 社会保障 | 教育・子育て | ①社会資本整備 ②安全・防災・震災復興 ③教育・子育て |
| 期限 | 3～5年 | 4年間 (完成には時間を要するため、取り組みの中で各ステージごとで期限を設定) | 2023年4月実施 |
| 数値目標 | — | — | 全区民の7割以上からのアンケート回収 |
| 予算 | — | 現時点では立てられず | 2億円 ※内訳 アンケート郵送費+回答集計、分析委託費+システム構築費 |
| 手段 | <ul style="list-style-type: none"> ○特別養護老人ホーム ○リハビリ施設 ○高齢者グループホーム | <ul style="list-style-type: none"> ○保育園・幼稚園の「量」から「質」への変換 ○公立・私立幼稚園・保育園の役割分担の明確化 ○公立における配慮の必要な園児への保育の研究と実践 ○小学校へのスムーズな移行をするための先導機関の実施 ○周産期母子医療、医療ケア児対策の実施 ○すべての子どもたちのための教育の研究と実践 ○大学・専門学校の誘致を模索 ○交通機関（特に駅は必須） | <p>羽田低空飛行ルート問題について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全区民を対象にしたアンケートを実施 →地域ごとの影響やニーズの実態を明確に把握し、国へ要望する等の具体的な解決策を見出していく。 <p>これを機会に、区民が直接的に意見を届けることができる仕組みを作る。</p> |

※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2022年9月27日現在で作成しました

品川区長選挙 公開討論会 政策比較表 3

課題を解決するための重要政策 第3優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

| | 山本やすゆき | 村川ひろかず | おおにし光広 |
|------|--|--|--|
| 政策分野 | 安全・防災（・震災復興） | ①羽田新ルート中止（緊急課題）リニアの見直し ②SDGs推進 ③バリアフリー新庁舎、街中オアシス、快適トイレ等 | 子育て支援政策 |
| 期限 | 2030年 区長任期2期までをゴールとして | 3～5（～10）年 | — |
| 数値目標 | 詳細は今後、議会、行政、区民の皆様と議論したうえで決定 | — | — |
| 予算 | 数値目標と照らし合わせの上決定 重要政策分野として十分な予算確保を目指す | — | — |
| 手段 | <ul style="list-style-type: none"> ○大井町新庁舎建替え予定一体の敷地に魅力あるアリーナを建設し、スポーツ・エンタメの発信地と共に、大規模災害時の防災・避難拠点として活用。 ○上記のアリーナとは別に大規模災害時のコア防災拠点・避難施設の整備、 ○町内会・商店街コミュニティ活動の支援 ○ドックラン施設整備 ○公的施設におけるペット同伴ガイドラインの整備等の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○区独自のの新規手当の創設 ○国や都が十分に取組まない物価問題にチャレンジ！ ○羽田新ルート・品川上空低空飛行の中止。リニア中央新幹線工事の中止を求め、生活環境の破壊を止める ○区の新庁舎はバリアフリーを徹底 ○熱射病対応のオアシス、ミストの設置 ○コンビニ等に快適トイレの設置 | <ul style="list-style-type: none"> ○区立小中学校の給食費を無償とする。 ○区立中の標準服にユニクロ社の（特定）既製品を認める。ユニクロの既製品（ジャケットやスカート、スラックス等）は従来の標準服の約3分の1の価格で購入できる。 ○女子生徒もスラックス通学OK ※制服について従来の標準服も可能 |

※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2022年9月27日現在で作成しました